

Q001 ○× | 点検 / 感知器

点検では、感知器の脱落・変形・汚損・塗装の付着などを確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：感知器の外観異常は感知性能に影響する。

要点：点検 / 感知器

Q002 ○× | 点検 / 受信機

受信機の点検では、表示や音響の作動確認を行わない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。受信機の点検では、表示、音響、スイッチ、予備電源などの状態を確認する。

要点：点検 / 受信機

Q003 4択 | 点検 / 発信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。
4. 発信機は人が操作する機器ではないため、押しボタンの確認は不要である。

答え・解説

正答：3. 発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。

解説：発信機は手動操作で信号を出すため操作部の確認が必要。

要点：点検 / 発信機

Q004 ○× | 点検 / 音響

地区音響装置の点検では、鳴動の有無や聞こえ方を確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：火災時に警報音が届くことが目的。

要点：点検 / 音響

Q005 ○× | 配線 / 絶縁

絶縁不良は、消防用設備等の信号伝送に影響しない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。配線の絶縁不良は、誤作動や不作動の原因になり得る。

要点：配線 / 絶縁

Q006 4択 | 障害物

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認6）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。

答え・解説

正答：4. 感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。

解説：熱・煙・炎の到達を妨げる状態は不適切。

要点：障害物

Q007 ○× | 復旧

乙種第4類で扱う整備・点検では、不良箇所の発見と適切な復旧確認が重要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：試験操作後は通常監視状態への復旧確認が重要。

要点：復旧

Q008 ○× | 点検手順

点検時は、関係者に知らせず突然警報を鳴らすことが常に望ましい。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。自動火災報知設備の試験では、実火災と誤認されないよう関係者への連絡・安全確認が必要である。

要点：点検手順

Q009 4択 | 試験器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認9）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 熱感知器の試験では、ライターの直火を当て続けることが標準的な方法である。
3. 熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。

解説：専用試験器などによる適切な方法で確認する。

要点：試験器

Q010 ○× | 試験器

煙感知器の試験では、適切な加煙試験器などを用いて作動を確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：煙感知器には加煙試験器などを用いる。

要点：試験器

Q011 ○× | 構成

自動火災報知設備は、消火薬剤とノズルだけで構成される。この記述は正しいか。(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。自動火災報知設備は、感知器・発信機・中継器・受信機・地区音響装置などで構成される。

要点：構成

Q012 4択 | 受信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認12)

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：2. 受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。

解説：受信機は表示・音響・制御の中心。

要点：受信機

Q013 ○× | 発信機

発信機は、火災を発見した人が手動で火災信号を送るための機器である。この記述は正しいか。(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：発信機は人の操作による信号発信に用いられる。

要点：発信機

Q014 ○× | 地区音響

地区音響装置は、受信機の内部温度を冷却する装置である。この記述は正しいか。(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。地区音響装置は、火災発生を建物内の人に知らせ避難行動を促す役割をもつ。

要点：地区音響

Q015 4択 | 中継器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認15)

1. 中継器は、消火器本体の腐食を防ぐ塗料の名称である。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。

解説：中継器は信号伝送の途中に用いられる機器。

要点：中継器

Q016 ○× | ガス漏れ

ガス漏れ火災警報設備では、ガス漏れ信号を受けてガス漏れの発生を報知する。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ガス漏れ火災警報設備はガス漏れを検出・報知する。

要点：ガス漏れ

Q017 ○× | 受信機

主音響装置は、消火薬剤を泡状にする混合器である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。主音響装置は、受信機側で火災発生を知らせる音響装置である。

要点：受信機

Q018 4択 | 表示灯

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認18）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：2. 表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。

解説：表示灯は発信機位置の視認性に関わる。

要点：表示灯

Q019 ○× | 電源

自動火災報知設備では、常用電源だけでなく予備電源の状態確認も重要である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：停電時の機能維持のため予備電源が重要。

要点：電源

Q020 ○× | 配線

断線や短絡は、自動火災報知設備の機能に一切影響しない。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。断線や短絡は、火災信号の伝達や設備の監視に重大な支障を生じる。

要点：配線

Q021 4択 | 点検 / 感知器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認21）

1. 点検では、感知器の脱落・変形・汚損・塗装の付着などを確認する。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：1. 点検では、感知器の脱落・変形・汚損・塗装の付着などを確認する。

解説：感知器の外観異常は感知性能に影響する。

要点：点検 / 感知器

Q022 ○× | 点検 / 受信機

受信機の点検では、表示、音響、スイッチ、予備電源などの状態を確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：受信機は自火報の中核であり、表示・音響・電源の確認が重要。

要点：点検 / 受信機

Q023 ○× | 点検 / 発信機

発信機は人が操作する機器ではないため、押しボタンの確認は不要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。

要点：点検 / 発信機

Q024 4択 | 点検 / 音響

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認24）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 地区音響装置の点検では、鳴動の有無や聞こえ方を確認する。
4. 地区音響装置は外観だけ見れば、鳴動確認は不要である。

答え・解説

正答：3. 地区音響装置の点検では、鳴動の有無や聞こえ方を確認する。

解説：火災時に警報音が届くことが目的。

要点：点検 / 音響

Q025 ○× | 配線 / 絶縁

配線の絶縁不良は、誤作動や不動作の原因になり得る。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：絶縁状態は電気設備の基本確認項目。

要点：配線 / 絶縁

Q026 ○× | 障害物

感知器は周囲を箱で覆っても、必ず正常に火災を感知する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。

要点：障害物

Q027 4択 | 復旧

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認27）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 点検後に復旧操作を忘れても、設備の運用には影響しない。
4. 乙種第4類で扱う整備・点検では、不良箇所の発見と適切な復旧確認が重要である。

答え・解説

正答：4. 乙種第4類で扱う整備・点検では、不良箇所の発見と適切な復旧確認が重要である。

解説：試験操作後は通常監視状態への復旧確認が重要。

要点：復旧

Q028 ○× | 点検手順

自動火災報知設備の試験では、実火災と誤認されないよう関係者への連絡・安全確認が必要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：点検時の警報鳴動は事前連絡・安全確保が必要。

要点：点検手順

Q029 ○× | 試験器

熱感知器の試験では、ライターの直火を当て続けることが標準的な方法である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。

要点：試験器

Q030 4択 | 試験器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認30）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 煙感知器の試験では、適切な加煙試験器などを用いて作動を確認する。

答え・解説

正答：4. 煙感知器の試験では、適切な加煙試験器などを用いて作動を確認する。

解説：煙感知器には加煙試験器などを用いる。

要点：試験器

Q031 ○× | 構成

自動火災報知設備は、感知器・発信機・中継器・受信機・地区音響装置などで構成される。この記述は正しいか。（類似論点確認 4）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：自火報は火災を検知・伝達・表示・報知する設備。

要点：構成

Q032 ○× | 受信機

受信機は、火災信号を受けても表示や音響に関与しない単なる配線箱である。この記述は正しいか。（類似論点確認 4）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。

要点：受信機

Q033 4択 | 発信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認33）

1. 発信機は、火災を発見した人が手動で火災信号を送るための機器である。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：1. 発信機は、火災を発見した人が手動で火災信号を送るための機器である。

解説：発信機は人の操作による信号発信に用いられる。

要点：発信機

Q034 ○× | 地区音響

地区音響装置は、火災発生を建物内の人に知らせ避難行動を促す役割をもつ。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：地区音響装置はベル・ブザー等の警報装置。

要点：地区音響

Q035 ○× | 中継器

中継器は、消火器本体の腐食を防ぐ塗料の名称である。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。

要点：中継器

Q036 4択 | ガス漏れ

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認36）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. ガス漏れ火災警報設備では、ガス漏れ信号を受けてガス漏れの発生を報知する。
3. ガス漏れ火災警報設備は、消火剤の薬剤量だけを測定する設備である。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：2. ガス漏れ火災警報設備では、ガス漏れ信号を受けてガス漏れの発生を報知する。

解説：ガス漏れ火災警報設備はガス漏れを検出・報知する。

要点：ガス漏れ

Q037 ○× | 受信機

主音響装置は、受信機側で火災発生を知らせる音響装置である。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：主音響装置は受信機の警報に関係する。

要点：受信機

Q038 ○× | 表示灯

表示灯は、消火剤の薬剤を加圧するためのガス容器である。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。

要点：表示灯

Q039 4択 | 電源

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認39）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 自動火災報知設備では、常用電源だけでなく予備電源の状態確認も重要である。

答え・解説

正答：4. 自動火災報知設備では、常用電源だけでなく予備電源の状態確認も重要である。

解説：停電時の機能維持のため予備電源が重要。

要点：電源

Q040 ○× | 配線

断線や短絡は、火災信号の伝達や設備の監視に重大な支障を生じる。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：配線異常は信号伝送や監視に影響する。

要点：配線

Q041 ○× | 点検 / 感知器

感知器に塗料が付着していても、点検では確認不要である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。点検では、感知器の脱落・変形・汚損・塗装の付着などを確認する。

要点：点検 / 感知器

Q042 4択 | 点検 / 受信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認42）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 受信機の点検では、表示や音響の作動確認を行わない。
4. 受信機の点検では、表示、音響、スイッチ、予備電源などの状態を確認する。

答え・解説

正答：4. 受信機の点検では、表示、音響、スイッチ、予備電源などの状態を確認する。

解説：受信機は自火報の中核であり、表示・音響・電源の確認が重要。

要点：点検 / 受信機

Q043 ○× | 点検 / 発信機

発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：発信機は手動操作で信号を出すため操作部の確認が必要。

要点：点検 / 発信機

Q044 ○× | 点検 / 音響

地区音響装置は外観だけ見れば、鳴動確認は不要である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。地区音響装置の点検では、鳴動の有無や聞こえ方を確認する。

要点：点検 / 音響

Q045 4択 | 配線 / 絶縁

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認45）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 配線の絶縁不良は、誤作動や不作動の原因になり得る。

答え・解説

正答：4. 配線の絶縁不良は、誤作動や不作動の原因になり得る。

解説：絶縁状態は電気設備の基本確認項目。

要点：配線 / 絶縁

Q046 ○× | 障害物

感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：熱・煙・炎の到達を妨げる状態は不適切。

要点：障害物

Q047 ○× | 復旧

点検後に復旧操作を忘れても、設備の運用には影響しない。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。乙種第4類で扱う整備・点検では、不良箇所の発見と適切な復旧確認が重要である。

要点：復旧

Q048 4択 | 点検手順

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認48）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 自動火災報知設備の試験では、実火災と誤認されないよう関係者への連絡・安全確認が必要である。
4. 点検時は、関係者に知らせず突然警報を鳴らすことが常に望ましい。

答え・解説

正答：3. 自動火災報知設備の試験では、実火災と誤認されないよう関係者への連絡・安全確認が必要である。

解説：点検時の警報鳴動は事前連絡・安全確保が必要。

要点：点検手順

Q049 ○× | 試験器

熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：専用試験器などによる適切な方法で確認する。

要点：試験器

Q050 ○× | 試験器

煙感知器の試験では、水を直接かけて作動を確認する。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。煙感知器の試験では、適切な加煙試験器などを用いて作動を確認する。

要点：試験器

Q051 4択 | 構成

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認51)

1. 自動火災報知設備は、感知器・発信機・中継器・受信機・地区音響装置などで構成される。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 自動火災報知設備は、感知器・発信機・中継器・受信機・地区音響装置などで構成される。

解説：自火報は火災を検知・伝達・表示・報知する設備。

要点：構成

Q052 ○× | 受信機

受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：受信機は表示・音響・制御の中心。

要点：受信機

Q053 ○× | 発信機

発信機は、煙を自動検知して熱で作動する感知器の一種である。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。発信機は、火災を発見した人が手動で火災信号を送るための機器である。

要点：発信機

Q054 4択 | 地区音響

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認54)

1. 地区音響装置は、火災発生を建物内の人に知らせ避難行動を促す役割をもつ。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：1. 地区音響装置は、火災発生を建物内の人に知らせ避難行動を促す役割をもつ。

解説：地区音響装置はベル・ブザー等の警報装置。

要点：地区音響

Q055 ○× | 中継器

中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：中継器は信号伝送の途中に用いられる機器。

要点：中継器

Q056 ○× | ガス漏れ

ガス漏れ火災警報設備は、消火器の薬剤量だけを測定する設備である。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ガス漏れ火災警報設備では、ガス漏れ信号を受けてガス漏れの発生を報知する。

要点：ガス漏れ

Q057 4択 | 受信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認57)

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 主音響装置は、受信機側で火災発生を知らせる音響装置である。
4. 主音響装置は、消火薬剤を泡状にする混合器である。

答え・解説

正答：3. 主音響装置は、受信機側で火災発生を知らせる音響装置である。

解説：主音響装置は受信機の警報に関係する。

要点：受信機

Q058 ○× | 表示灯

表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：表示灯は発信機位置の視認性に関わる。

要点：表示灯

Q059 ○× | 電源

自動火災報知設備は、停電時に一切機能しなくてよい。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。自動火災報知設備では、常用電源だけでなく予備電源の状態確認も重要である。

要点：電源

Q060 4択 | 配線

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。(確認60)

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 断線や短絡は、火災信号の伝達や設備の監視に重大な支障を生じる。
3. 断線や短絡は、自動火災報知設備の機能に一切影響しない。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：2. 断線や短絡は、火災信号の伝達や設備の監視に重大な支障を生じる。

解説：配線異常は信号伝送や監視に影響する。

要点：配線

Q061 ○× | 点検 / 感知器

点検では、感知器の脱落・変形・汚損・塗装の付着などを確認する。【61】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：感知器の外観異常は感知性能に影響する。

要点：点検 / 感知器

Q062 ○× | 点検 / 受信機

受信機の点検では、表示や音響の作動確認を行わない。【62】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。受信機の点検では、表示、音響、スイッチ、予備電源などの状態を確認する。

要点：点検 / 受信機

Q063 4択 | 点検 / 発信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認63）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 発信機は人が操作する機器ではないため、押しボタンの確認は不要である。
4. 発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。

答え・解説

正答：4. 発信機の点検では、押しボタン、表示灯、保護板、復旧状態などを確認する。

解説：発信機は手動操作で信号を出すため操作部の確認が必要。

要点：点検 / 発信機

Q064 ○× | 点検 / 音響

地区音響装置の点検では、鳴動の有無や聞こえ方を確認する。【64】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：火災時に警報音が届くことが目的。

要点：点検 / 音響

Q065 ○× | 配線 / 絶縁

絶縁不良は、消防用設備等の信号伝送に影響しない。【65】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。配線の絶縁不良は、誤作動や不作動の原因になり得る。

要点：配線 / 絶縁

Q066 4択 | 障害物

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認66）

1. 感知器は周囲を箱で覆っても、必ず正常に火災を感知する。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：3. 感知器の周囲に障害物があると、熱や煙の到達が妨げられることがある。

解説：熱・煙・炎の到達を妨げる状態は不適切。

要点：障害物

Q067 ○× | 復旧

乙種第4類で扱う整備・点検では、不良箇所の発見と適切な復旧確認が重要である。【67】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：試験操作後は通常監視状態への復旧確認が重要。

要点：復旧

Q068 ○× | 点検手順

点検時は、関係者に知らせず突然警報を鳴らすことが常に望ましい。【68】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。自動火災報知設備の試験では、実火災と誤認されないよう関係者への連絡・安全確認が必要である。

要点：点検手順

Q069 4択 | 試験器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認69）

1. 熱感知器の試験では、ライターの直火を当て続けることが標準的な方法である。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：3. 熱感知器の試験では、適切な加熱試験器などを用いて作動を確認する。

解説：専用試験器などによる適切な方法で確認する。

要点：試験器

Q070 ○× | 試験器

煙感知器の試験では、適切な加煙試験器などを用いて作動を確認する。【70】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：煙感知器には加煙試験器などを用いる。

要点：試験器

Q071 ○× | 構成

自動火災報知設備は、消火薬剤とノズルだけで構成される。【71】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。自動火災報知設備は、感知器・発信機・中継器・受信機・地区音響装置などで構成される。

要点：構成

Q072 4択 | 受信機

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認72）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 受信機は、火災信号を受けても表示や音響に関与しない単なる配線箱である。
4. 受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。

答え・解説

正答：4. 受信機は、火災信号を受けて火災の発生を表示し、音響装置を鳴動させる中枢機器である。

解説：受信機は表示・音響・制御の中心。

要点：受信機

Q073 ○× | 発信機

発信機は、火災を発見した人が手動で火災信号を送るための機器である。【73】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：発信機は人の操作による信号発信に用いられる。

要点：発信機

Q074 ○× | 地区音響

地区音響装置は、受信機の内部温度を冷却する装置である。【74】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。地区音響装置は、火災発生を建物内の人に知らせ避難行動を促す役割をもつ。

要点：地区音響

Q075 4択 | 中継器

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認75）

1. 中継器は、消火器本体の腐食を防ぐ塗料の名称である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 中継器は、信号を中継・変換し、受信機などへ伝える役割をもつ。

解説：中継器は信号伝送の途中に用いられる機器。

要点：中継器

Q076 ○× | ガス漏れ

ガス漏れ火災警報設備では、ガス漏れ信号を受けてガス漏れの発生を報知する。【76】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ガス漏れ火災警報設備はガス漏れを検出・報知する。

要点：ガス漏れ

Q077 ○× | 受信機

主音響装置は、消火薬剤を泡状にする混合器である。【77】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。主音響装置は、受信機側で火災発生を知らせる音響装置である。

要点：受信機

Q078 4択 | 表示灯

工事・整備・点検について、正しい記述はどれか。（確認78）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 表示灯は、発信機などの位置を見つけやすくするために用いられる。

解説：表示灯は発信機位置の視認性に関わる。

要点：表示灯

Q079 ○× | 電源

自動火災報知設備では、常用電源だけでなく予備電源の状態確認も重要である。【79】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：停電時の機能維持のため予備電源が重要。

要点：電源

Q080 ○× | 配線

断線や短絡は、自動火災報知設備の機能に一切影響しない。【80】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。断線や短絡は、火災信号の伝達や設備の監視に重大な支障を生じる。

要点：配線